



ローレン・コフリン  
Lauren Coughlin

7月25日～28日に開催された海外女子ツアー「CPKC Women's Open」にて、PING契約ローレン・コフリン選手がツアー初優勝を飾りました。

コフリン選手は、慣性モーメント上下左右1万越えのG430 MAX 10Kドライバー（9度）を使用し、3日目のドライブングディスタンスで295ヤードを飛ばし、さらに最終日は298ヤードのビッグドライブを記録。また、ブレないG430 MAX 10Kドライバーに加え、i230アイアン、s159ウェッジの正確なショットで今大会パーオン率約80%を記録し、19個のバーディーを獲得。圧巻のプレーでツアー初勝利を手にしました。

コフリン選手は、今シーズン2つのメジャー大会（4月「The Chevron Championship」、7月「Amundi Evian Championship」）にてトップ5入りを果たし、今大会を終えて海外女子ツアー最終戦「CME Group Tour Championship」への出場指標となる「CMEグローブ ポイントランキング」が5位に浮上しました。

好調なコフリン選手の今後の活躍に注目です。

### ローレン・コフリン選手 クラブセッティング

ドライバー	G430 MAX 10K (9度)
FW	G430 MAX (#3)
ハイブリッド	G425 (22度、26度)
アイアン	i230 (#6-#9、PW)、BLUEPRINT S (PW)
ウェッジ	s159 (54度S、58度H)
パター	PLD OSLO 3

### 注目ギア G430 MAX 10Kドライバーが見せたブレない298ヤードのビッグドライブ！



コフリン選手が使用するG430 MAX 10Kドライバーの「10K」は上下左右を合わせた慣性モーメント1万(10K)を表しています。慣性モーメント(MOI)が高いとミスヒットしてもヘッドがブレにくいいため、ボール初速が落ちず、また方向性のブレも少なくなり、その結果、飛距離ロスが抑えられ、飛距離アップに繋がります。思いっきり振ると打点がズレやすくなりますが、G430 MAX 10Kドライバーなら、マン振りしてもヘッドがブレずにしっかり飛んでくれます。

G430 MAX 10Kドライバーを武器にコフリン選手は、今大会のドライブングディスタンスにおいて、3日目に295ヤード、最終日に298ヤードを記録しました。

### 注目ギア 最大飛距離を支えたショートゲーム！！要因の1つはs159ウェッジのソール選択

s159ウェッジは、フェースの溝の角度・間隔を最適化したマイクロマックス・グルーブを採用し、表面に摩擦力が向上するプラスト加工を施すことでどんなシチュエーションでも安定したスピン性能を可能とします。さらに重量周辺配分設計でミスヒットにも強く、「やさしいウェッジ」と多くの契約選手が投入しています。

コフリン選手は、6種類のソールバリエーションの中から54度Sグラインド(スタンダードソール)と58度の新しく追加されたHグラインド(ハーフムーンソール)を使用。自分のスタイル、使用シーンに合わせて、ソールを選ぶことで狙い通りに打ちやすく、今大会の高いパーオン率とバーディー量産に繋がりました。



ウェッジのソール診断は右QRコード「WEB FIT (WEDGE)」をチェック！

